

平成15年2月28日

マーケットスピード バージョンアップのお知らせ

バージョン3.21リリース

インターネット・トレーディング専門の証券会社、ディーエルジェイディレクト・エスエフジー証券株式会社（代表取締役：國重惇史、本社：東京都千代田区；以下「DLJ」）は、リアルタイム株価自動更新ソフト「マーケットスピード」の新バージョン3.21を3月上旬にリリースいたします。

本バージョンアップは新情報の提供と利便性向上が大きな特徴となります。

特に下記の2点は相場のホットな情報を個人投資家に一層近づけることができること、さらに利用者拡大に大きく貢献できることから重要な機能となります。

（1）立会外情報と取引所外取引情報を提供

ネット証券としては初めて、個人投資家向けに当該情報を提供いたします。ここでは東証、店頭市場の立会外取引および国内全銘柄を対象とした取引所外取引の情報を提供いたします。これにより個人投資家も、投信の大口取引、法人のクロス取引のみならず、昨今で相場形成に影響の大きな持ち合い解消売り、厚生年金基金の代行部分返上にともなう売りなどの大口取引情報を得ることができます。

（2）HTTPトンネリング機能

従来のマーケットスピードでは、株価等のデータ通信にTCP/IPプロトコルを利用していたため、一部企業ファイヤーウォール等で利用できない環境がありましたが、インターネットブラウザと同じHTTPプロトコルを利用することでより利用環境に関わらず広くご利用いただけるようになります。

また先日、東証から手口情報全面非公開方針と抱き合わせで発表のあったザラバ気配値上下5本化の対応もいち早く盛り込んでいます。

上記説明部分も含めた新機能は以下の通りとなります。

【投資情報機能】

- 立会外・場外情報表示
- 東証サラバ気配値上下5本化対応
- ストップ高値・安値、特別売気配・買気配、新高値・新安値表示
- 先物チャート全限月対応
- チャート印刷機能
- ティック・分足チャートの連続表示機能
- 信用規制情報参照の利便性向上
- 日経テレコン参照の利便性向上

【取引機能】

- 信用取引一括返済、一括現引、一括現渡機能

【共通機能】

- HTTPトンネリング機能
- メッセージ配信機能
- 銘柄指定方法の利便性向上（コード指定のみのフィールドでも銘柄名称での指定可とする）

D L Jディレクトは、1999年3月に設立され、同年6月11日よりサービスを開始した日本初のインターネット・トレーディング専門の証券会社です。CSFB*direct* Asia Holdings Inc.、三井住友銀行、インターネットイニシアティブ、住友商事、住友生命保険、三井住友海上火災保険、住友信託銀行が株主となっています。